



犯罪被害者等支援シンボルマーク
ギュっとちゃん

令和7年度犯罪被害者支援 大学生ボランティア募集

突然降りかかる事件・事故の被害。

もし、家族、友人が被害者になってしまったら...？

被害者の心情を理解し、命の大切さを伝えるため、秋田県警察と一緒に活動しませんか。



秋田県警察
犯罪被害者支援
大学生ボランティアHP



【募集期間】 令和7年4月1日(火)～4月25日(金)(必着)

【活動期間】 登録日～令和8年3月末

(登録式は、5月27日の予定です。)

【募集人数】 20人程度(秋田県内の大学に通う大学生・大学院生)

【主な活動】 街頭での広報活動、被害者支援に係る行事運営、
交通安全の金魚のお守りの作成、研修会への参加等

【申込方法】 メール又は郵送もしくは直接持参により申込みしてください。

(申込書は各大学に配布しています。県警察ホームページからもダウンロードできます。)

【申込・問合せ先】

秋田県警察本部警務部警務課犯罪被害者支援室

住 所 〒010-0951 秋田市山王四丁目1番5号

電 話 018-863-1111(内線 2662～2666)

メール Keimubukeimuka@pref.akita.lg.jp



犯罪被害者支援 大学生ボランティア



令和6年度は、次のような活動を行いました

5月

登録式

ここから活動がスタート！



6月

犯罪被害を考える日

秋田駅「ぽぽろーど」で広報活動を実施



7月

秋田被害者支援センター相談員の講話

「犯罪被害者に寄り添うということ」と題した講話を聴講

8月

第1回研修会

秋田被害者支援センターの見学、被害者支援をテーマにしたDVDを鑑賞し、意見交換を実施

9月

犯罪被害者等のところにふれる講演会

交通事故でお子さんを亡くしたご遺族の講演を聴講

10月

第2回研修会

交通安全の金魚のお守りを作成



11月

犯罪被害者週間「県民のつどい」(被害者支援に関する大会)

大会準備、展示物の設置、ナレーションなどの運営

12月

未解決事件の情報提供を呼び掛ける広報活動

協力店舗において広報活動を実施



2月

第3回研修会

1年間の活動の振り返り

犯罪被害者支援大学生ボランティア OB・OGの皆さんからのメッセージ

犯罪被害者等支援シンボルマーク
ギョuttoちゃん



犯罪被害者支援大学生ボランティアとして活動した皆さんのメッセージです。ボランティア活動に興味のある方は、ぜひ読んでみてくださいね。

犯罪というものは、普段は縁遠いもののよう
に感じてしまうかもしれませんが、誰でも
関与する可能性があります。だからこそ、真
剣に考えるきっかけとなったことがとても良
かったです。

(令和4年度・令和5年度登録、ノースアジア大学)

犯罪被害に遭われた方の力になり
たい、誰かを支えたいと思っている
人にとって、思いから行動に変わる
第一歩になります。犯罪被害につい
て自分で見て体験できる貴重な機会
になると思います。

(令和6年度登録、秋田大学大学院)

犯罪被害に遭われた方の苦しみを
理解し、それらを多くの県民の方々
に伝える活動を行います。

ボランティア一人ひとりの協力が、
犯罪のない明るい秋田を築くことに
つながります。

(令和3年度・令和4年度・令和5年度登録、
ノースアジア大学)



ボランティアとしてできることは小
さなことかもしれませんが、被害者や
遺族のために、少しでも役に立ってみ
ませんか。

(令和5年度登録、ノースアジア大学)

自分が今まで深く考えて
こなかったことについて改
めて考えさせられる新鮮な
体験ができます。これから
の生き方を変えようと思っ
ようになりました。

(令和6年度登録、秋田大学)



将来、誰かを助けたい、
誰かのためになりたい、
困っている人をサポートす
る仕事に就きたいと考える
方は、とてもやりがいを感じ
るボランティア活動になり
ます。

(令和4年度・令和5年度登録、
ノースアジア大学)

自分の家族が犯罪の被害者になっ
てしまった人たちの心理に深く触れるこ
とができました。経済的なことや病気
などとは違う困り事がある方たちに、
どのようにして関わるべきかについて
学ぶことができました。

(令和5年度登録、ノースアジア大学)

このボランティアでは、交通事故などでけ
けがえのない家族の命を奪われた被害者遺族
のお話を聞くことができます。多くの人が免
許をとる大学生の間にボランティアに参加し、
緊張感や責任感を持って交通ルールを守ると
いう意識を持ってほしいです。

(令和6年度登録、秋田大学)

犯罪被害者支援について特別な知識や経験がなくても、
このボランティア活動に参加することこそが、私たちが
できる犯罪被害者支援の大きな一歩ではないかなと思
います。自分や家族、友達を望まないかたちで奪われ
てしまった人たちがいる、その人たちの存在を知ること
で、自分のこれからの生き方や周りの大事な人たちとの
接し方についても考えさせられる活動になりました。

(令和5年度登録、国際教養大学)

迷っている方
はぜひ参加して
みてください。
自分の視野を広
げることができ
る活動です。

(令和6年度登録、
秋田大学)

